

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j40103	ピアノ演奏法Ⅱ	平田 和世	1年次・後期	演習・1単位	幼免・保育士選択必修

授業の概要 / Course Outline
楽譜の読み方を知って、自由にピアノを演奏できるようになることを目標とする。それぞれが持っている音楽経験をもとに、音楽理論やリズム感などをピアノを通して身に付ける。将来保育現場で、自信をもって演奏するためには、子どもたちの楽しむ様子が想像できるようになるまで練習を継続する必要がある。授業は個人指導で実施する。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
・音楽の基礎理論を理解する。	A-② B-①
・ピアノの基礎奏法(バイエル60番までの奏法)を身に付ける。	A-② C-①
・簡単な弾き歌いのレパートリー(進度表の記載曲目)が身に付く。	A-② C-①
・保育現場を想定した曲の弾き歌いができる。	A-② D-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	0%	
実技試験 Practical skill test	70%	ピアノ実技(表現内容の豊かさを問う)
平常点評価 Continuous Assessment	30%	進度表による評価

教科書 / Textbooks
バイエル教則本、担当者の指定する楽譜(ブルグミュラー、名曲アルバム等)、こどものうた200(チャイルド本社) 授業中に配布する資料・楽譜

参考書 / Reference Books

予習・復習 / Preparation・Review
授業中の指導だけでは上達しないので、毎日ピアノの練習をする習慣を身に付けること。課題は、音楽経験に差があるため個々に担当教員より指示する。

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
毎回、次週までの課題が提示される。授業は課題に対するフィードバックから始める。まとめの最終課題の結果は、進度表に評価を記載し返却する。

特記事項 / Special Note
子ども達の好む音楽に関心を持ち、演奏できるレパートリーを増やす努力をすること。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	音楽理論とピアノ個人指導
	理論の復習と読譜方法の確認・ピアノ経験の確認
02	音楽理論とピアノ個人指導
	理論の復習とバイエル2番まで(以下は初心者の進捗一例であり、経験の差により課題は異なる)
03	音楽理論とピアノ個人指導
	読譜の方法とバイエル11番まで
04	ピアノ個人指導
	バイエル20番まで
05	ピアノ個人指導
	バイエル27番まで
06	ピアノ個人指導
	バイエル34番まで
07	ピアノ個人指導
	バイエル40番まで
08	ピアノ個人指導と音楽理論
	バイエル46番までと「むすんでひらいて」ハ長調と弾き歌い
09	ピアノ個人指導と音楽理論
	バイエル50番までと「むすんでひらいて」ト長調・ヘ長調・ニ長調・変ロ長調の移調奏
10	ピアノ個人指導
	バイエル54番までと「チューリップ」「ぶんぶんぶん」の弾き歌い
11	ピアノ個人指導
	バイエル56番までと「こぎつね」の弾き歌い
12	ピアノ個人指導
	バイエル58番までと選択した「挨拶の歌」の弾き歌い
13	ピアノ個人指導
	バイエル60番までと「とんぼのめがね」の弾き歌い
14	ピアノ個人指導
	まとめの課題曲
15	まとめ
	保育現場を想定したピアノのソロと弾き歌い